

開催日時	2009年2月23日(月)13:30~15:10
場 所	大阪合同庁舎第1別館 3F 第3会議室
参加者数	委員長、副委員長:3名、委員:2名、河川管理者:3名、一般傍聴者:9名(報道機関含む)

## 1. 決定事項

今後の委員会開催予定について

- ・第84回委員会・・・3月16日(月)15:00~17:00(議事内容「進捗点検の進め方について」)
- ・第85回委員会・・・3月30日(月)午後

その他の会議開催予定について

- ・第19回委員会作業検討会・・・3月9日(月)13:30~17:00
- ・第20回委員会作業検討会・・・3月23日(月)10:00~15:00

委員のスケジュール確認について

- ・委員の4月以降のスケジュールについて庶務より確認を行う。

河川管理者からの意見について

- ・審議資料-1,2について、河川管理者より疑問点や改善点に関する意見を3月6日(金)までに委員会に提出。

## 2. 報告の概要

- ・庶務より前回運営会議以降の経過報告がなされた。

## 3. 審議

進捗点検の視点と評価の基準について:主な内容は以下の通り(例示)

- ・個々の事業に対応する項目や事業全体に対応する項目等、指標はいくつかのタイプに分かれる。これについては委員会でさらに議論して精査しなければならない。
- ・審議資料-1で示した視点および指標について、(S)現状がどうなっているか、(P)法令や枠組みがきちんと担保されているか、(I)事業の達成状況の評価の3タイプに区分している。実際に進捗点検を進めていく上では、どの視点に重点を置くのか委員会でランク付けを行い、重要度の高いものから優先的に進捗点検をお願いしたい。(委員長)

今日ご提示頂いた資料については内容を確認させて頂き意見を述べるが、大項目と小項目が整備計画の内容を網羅的に含んだ内容になっているか、指標は点検のためのものと評価のためのものの2通りがあり、両方が混在しているので点検作業を行えるかどうか不安。(河川管理者)

河川管理者からはこの資料に関する疑問点や改善点について意見を頂き、できる限り委員会と河川管理者それぞれが考える進捗点検の視点や評価基準についてのギャップをなくしておきたい。(委員長)

小項目が評価で、指標はそのための材料と言うことでよいか。

そういうこと。(委員長)

- ・7月までに進捗点検への意見をまとめることを考えると、4月以降の委員スケジュールを確認しておいたほうがよい。
- ・次回委員会(3/16)までにどこまで決めればよいか、委員会と河川管理者の間でスケジュールを共有しておく必要がある。今回の審議を踏まえて、どれぐらいの期間で可能なのか河川管理者にスケジュールを示してもらいたい。

河川管理者が点検したものを評価するのが委員会の役割だ。モデル的な議論になるといつまでも議論が終わらない恐れがある。委員会が示した進捗点検の視点および指標について第84回委員会(3/16)で議論し、第85回委員会(3/30)で最終決定するスケジュールでなければ間に合わない。逆に、委員会としては3/30でまとめたもので割り切る必要がある。そうでないと河川管理者も作業ができない。

委員会に進捗点検シートの案を考えて頂き、それを踏まえて1ヶ月ほど作業をして次々回の委員会ぐらいで河川管理者が考える進捗点検のモデル的な資料を示すイメージでいた。とても作業が間に合わないし、多忙時期である年度末の開催はきつい。(河川管理者)

3/30の委員会開催は3/16の委員会の審議結果を踏まえて最終決定するということにならないか。(河川管理者)

第84回委員会の審議状況によっては第85回委員会の開催延期も考慮して頂けるとありがたい。(河川管理者)

今後のスケジュールを考えると第84回委員会(3/16)で議論し、第85回委員会(3/30)で最終決定する必要がある。

以上